

平成28年11月21日

職員各位

平成28年度上半期における取組み状況について（報告）

学長 尾家 祐二

日頃より、本学の教育研究に貢献頂き感謝申し上げます。

新執行部が発足し半年が経過しました。これまで、迅速な意思決定を心がけながら、教育研究力強化のために、以下の施策を実施してまいりました。

これからも、学内外との多様なインタラクションを通し、さらにより良い大学を目指して、活動を継続する予定です。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

<これまでの取組み>

教育支援・学生支援

- (1) 教養教育院における教養教育改革案の策定（全学共通の教養教育カリキュラム、習熟度別英語教育、英語能力試験統一（TOEIC）、グローバル教養科目等）
- (2) 6年一貫教育グローバル・エンジニア養成コース（GEコース）への登録開始
- (3) 熊本地震で被災した学生への経済的支援

研究力強化

- (1) 学術機関リポジトリの活用による論文公開の促進
- (2) 科研費チャレンジ支援に加え、科研費ステップアップ支援制度を新設
- (3) 「国際共同博士研究員」を公募・採択
- (4) 海外の研究機関又は工業高等専門学校で研究者として活動する卒業生との連携支援事業募集
- (5) 国立大学改革強化推進補助金特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」の交付申請及び7名の採用枠獲得

グローバル化の促進

- (1) タイ（キング・モンクット工科大学）や台湾（台湾大学、台湾科技大学、台北科技大学）における拠点形成に向けた組織的連携強化
- (2) 学生の長期海外派遣の推進（新規採択の Erasmus+により、フランスのロレーヌ大学へ4名の学生を6ヶ月派遣等）
- (3) 九州経済連合会国際部との連携協議

管理運営体制と情報発信力の強化

- (1) 組織的な情報共有と迅速な判断を行うため、経営企画会議を定期開催
- (2) 学長企画室を設置し、中期目標・中期計画の進捗を管理
- (3) 人材の適切な確保と部局を越えた人財活用を協議する人財活性化推進会議を設置

- (4) 財政基盤強化のための九州工業大学基金の設置
- (5) 学長記者懇談会の定期開催（5月、9月）

学内外とのインタラクション

- (1) 新規採用・昇任教育職員と学長との意見交換会定例化
- (2) 事務職員・技術職員を対象にした満足度調査実施

男女共同参画事業

- (1) 「学長宣言」「アクション・プラン」策定
- (2) 女性教育職員ヒアリング実施
- (3) 男女共同参画に関する執行部セミナー、教育職員向け講演会の開催

<これからの取組み>

教育支援・学生支援

- 産学連携教育審議会の開催（12月）
- 海外派遣、留学生との協働学習の単位化
- 平成30年度学部等改組案を確定

研究力強化

- IRとの連携強化、コーディネーターの集約、URA改革など
- 教育職員のサバティカルリーブ制度・海外研修プログラム見直し等検討
- 海外及び工業高等専門学校で勤務する卒業生との連携支援

グローバル化の促進

- 海外拠点形成のための、台湾、タイとの教育、研究連携強化（共同研究、国際共同教育）
- JICAとの包括協定締結

管理運営体制と情報発信力の強化

- 論文データベースScopus及び研究分析ツールSciValの導入
- 長期的、包括的な財務計画立案
- 九州工業大学基金の募集開始

学内外とのインタラクション

- 事務職員・技術職員を対象として満足度調査の分析実施と満足度アップ施策の実施

男女共同参画事業

- 男女共同参画に関する教職員アンケート実施
- 在宅勤務制度に係る検討
- 土日入試業務の遂行困難者に対する対応策の検討